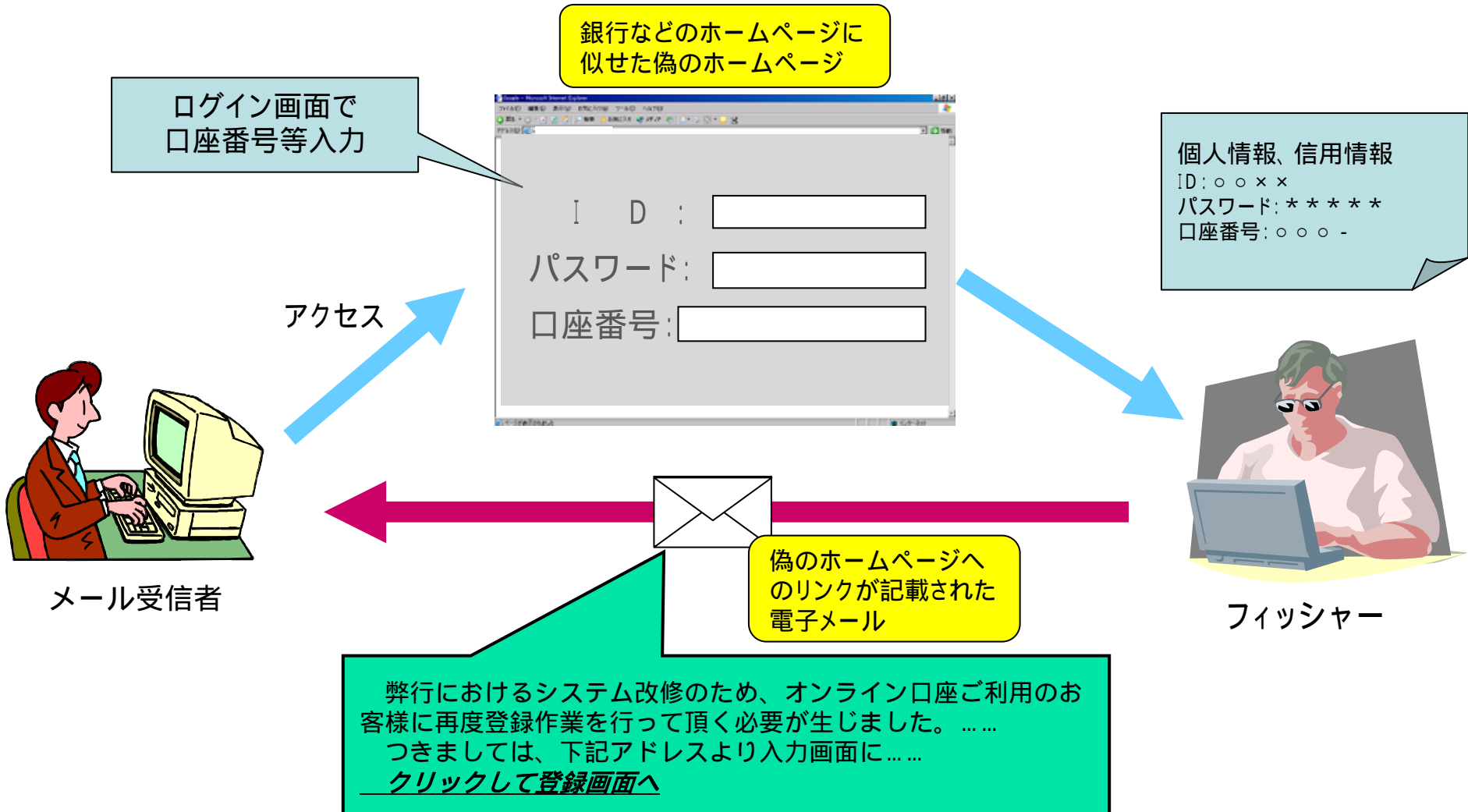


“フィッシング詐欺”にご注意下さい

平成16年12月10日
総務省総合通信基盤局
消費者行政課

- 銀行等からのメールを装い、メールの受信者に偽のホームページにアクセスするよう仕向け、そのページにおいて個人の金融情報(クレジットカード番号、ID、パスワード等)を入力させるなどして個人情報を不正に入手する詐欺的な行為。
- “phishing”は、複雑化した(sophisticated)手法により個人情報を釣り上げる(fishing)ことから作られた造語と言われている。



米国のフィッシング被害に関する調査 (米Gartner社)

米国5,000人のインターネット利用者(成人)への聞き取り調査からの推計
(2003後半~2004年前半)

- 米国では、約5,700万人がフィッシングメールを受信。
- フィッシングメールの受信者の19%(約1,100万人)がサイトをクリック。受信者の3%(約178万人)が、個人情報を入力。
- フィッシングによる銀行とクレジットカード会社の被害額は、約12億ドル(約1,200億円)。
- 76%のフィッシングが過去6ヶ月に、92%が過去1年間に発生。

フィッシング詐欺の具体的な手口

